

町議会だより

町議会6月定例会が6月8日から10日までの日程で開催され、一般会計補正予算等について審議され、下記の通り可決されました。

1. 専決処分の承認

中山町町税条例等の一部を改正する条例の設定についておよび中山町国民健康保険税の一部を改正する条例の制定についての専決処分が承認されました。

2. 平成28年度一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2,285万6千円を追加し、予算総額を55億4,185万6千円としました。

3. 平成28年度特別会計補正予算（第1号）

区分	補正額	補正後の予算額	主な歳出補正の内容
国民健康保険	75万6千円	13億6,253万8千円	国保改革施行準備事業システム改修委託料 75万6千円
介護保険	87万6千円	12億4,665万8千円	介護予防生活支援サービス事業費精算負担金 76万8千円
農業集落排水	34万9千円	8,081万2千円	経営戦略策定支援業務委託料 34万9千円
公共下水道事業	201万円	4億8,013万2千円	経営戦略策定支援業務委託料 201万円

4. 条例の制定

- ・中山町いじめ防止対策の推進に関する条例の設定
- ・特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

5. 契約の締結

平成28年度ひまわり温泉ゆ・ら・ら施設改修工事請負契約の締結

一般質問



堀川 政美 議員

① 中山町行政改革実施計画について

問 第5次中山町総合計画・後期5か年基本計画が描く未来像を達成するためには行政改革との密接な連動が重要であると思われるが、町としての行政改革の重要性および今後の行政改革の考え方は。

答 町では、安全かつ良質な公共サービスが確実かつ効率的に実施されるよう、地域の実情に応じた自主的な行政改革やその継続的な取組みの積み重ねにより、実質公債費比率（※）の改善や中山中学校の建設など、町が抱える課題の解決と町民サービスの質的な向上等に対応してまいりました。
今後の行政改革においても、国・地方を通じた厳しい財政状

況下のなか、引き続き質の高い公共サービスの効率的・効果的な提供、また更なる業務改革に向け、民間委託や指定管理者制度等の活用について導入済みの施設も含め、検証を行う必要があると考えています。

町民、地域、団体、企業、そして行政が更なる連携・協働を図り、中山町総合計画・後期5か年基本計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる目指すべき将来に向けて総力を挙げ取り組んでいくことが求められることから、新たな中山町行政改革大綱および実施計画について、今年度中に策定を進めたいと考えています。

※実質公債費比率とは、町の収入に対する負債返済の割合。実質公債費比率が18%以上で新たな借り入れをするのに国や都道府県の許可が必要になる。

② 町を活性化させるイベントの創出について

問 町では大きなイベントとして「全国かぶと虫相撲大会」「三元祖芋煮会」「全国グラウンドゴルフ」などを開催しているが、新たな

イベントの実施で町を盛り上げられないか。

1. 町の地の利を活かした新しいイベントの企画構想は。
2. 活性化のイベントとして、次の中で前向きに考えられるものはあるか。

- (1) ひまわり街道の整備および「ひまわり祭り」の開催
- (2) 町民盆踊り大会の復活
- (3) 最上川河川敷公園を会場にした「ひまわりマラソン大会」「花火大会」
- (4) ゆ・ら・ら付近での「中山雪灯籠まつり」

答 現在のところ、町が主体となる新たなイベントを創出する考えはないが、笹川スポーツ財団が主催するスポーツイベントの「チャレンジデー（※）」に平成29年度の参加を予定し準備を進めています。

※「チャレンジデー」とは、毎年5月の最終水曜日に世界中で行われる住民参加型のスポーツイベントで、当日の午前0時から午後9時までの間に1人15分以上継続して運動やスポーツに取組み、その住民の参加率（%）を競い合うもの。



佐東 幸治 議員

① 職員の町民対応について

問 職員の町民対応に関する苦情が依然として絶えないが、職員は町民に対する対応マニュアルはあるのか。また、無ければ作成の考えは。

答 接遇全般のマニュアルはありませんが、町民の方の目線に立った温かく真摯な対応、元気で心のこもった挨拶等、今後とも町民に好印象を与え、明るく活気あふれる役場になるよう職員の意識を高めていきます。なお、接遇全般のマニュアルの作成については今後検討していきたいと考えております。

② 身体障がい者に対する町施設の改善について

問 普段の生活の中で、健常者と障がい者が分け隔てなく生活を営むことのできる社会が誰しも理想と思っているのではないかと。公民館、ほんわ館、総合体育

館など町施設のスロープに手すり設置の考えは。

2. 障害者手帳所有者のゆ・ら・ら入浴無料化の考えは。

答 1. 現状を調査した上で、対応を検討していきたいと考えております。

2. 現在、町では満70歳以上の高齢者および身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者に対し、14枚のゆ・ら・ら入浴割引回数券購入の際、大人1冊につき500円、小学生1冊につき250円を助成しています。また、介助が必要な方のために紅花湯を設けています。障害者手帳所有者のゆ・ら・ら入浴無料化については、現在身体障がい者と同様の助成制度を設けている満70歳以上の高齢者等とのバランスにも留意しながら、対象を一般の大浴場とするのか、紅花湯とするのか、などについて財源等も併せて検討してまいります。

③ 第5次中山町総合計画について

問 第5次中山町総合計画の前期5年が終了したが、その評価・総括は町民に公表されていない。